

回復期リハ病棟に新任の医師が就任しました

この度、昨年10月1日にリハビリテーション科に高橋健一医師が入職し、当院待望のリハビリテーション科医師複数体制が実現しました。現在、3・5階地域包括ケア病棟、7階回復期リハ病棟で活躍中です。

高橋健一先生にインタビュー

Q: 医師を志したきっかけは

高校2年の時に、半年くらいの間に、叔父・祖母・祖父と立て続けに亡くなったのがきっかけです。それまでは宇宙工学などに興味があり、その方面の仕事につけたらと思っていました。しかし、この出来事がきっかけで、医師になりたいと思うようになりました。



Q: 汐田総合病院のリハビリテーション科で診療してみて感じていること

当院に来る前は、整形外科医として働いていました。もともとリハ医になるのが、目標であったので、ようやく希望がかなったという安堵感があります。同時に、新たな分野へのスタートにあたり、身の引き締まる思いです。

Q: 汐田総合病院のリハビリテーション科の魅力について

まだまだ当院に来たばかりで、当院のリハビリ科の魅力について語るのは早いと感じます。当院に限らず、リハビリ科の魅力ということであれば、語れると思います。

リハ医は、疾患を治療するというより、患者さんのADLを改善する、あるいは維持することを目標とします。そういう点では、他科以上に病気を診るのではなく、人を診ることを心がける必要があります。大変でもありますがその点に魅力を感じています。

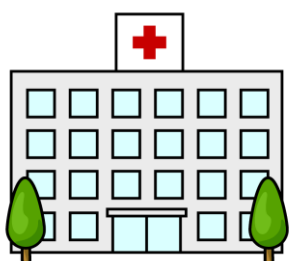
Q: 医師として大事にしていること

2年前にマイコプラズマ肺炎になり、仕事を休んで治療するということがありました。医師も歳をとると、様々な疾患になりうるので、最近では以前以上に体調管理に気を付けるようにしています。



Q: プライベートで夢中になっているものがあれば

映画館での映画鑑賞、自宅でも映画・ドラマを録画や画配信でみています。COVID-19感染が流行する前は、1日に映画館をはしごして3、4本みていた時期もあります。



当院の病床状況 (合計 317 床)

- 2階病棟：地域包括ケア病棟 50床 (現在、COVID-19専用病棟26床として稼働中)
- 3階病棟：地域包括ケア病棟 53床
- 4階病棟：一般病棟 46床
- 5階病棟：地域包括ケア病棟 54床
- 6階病棟：一般病棟 56床
- 7階病棟：回復期リハ病棟 58床